

広報

にしあわくら

10月



今月のテーマ

合同運動会



9月21日(日)、中学校にて合同運動会が開催されました。天候不順により延期となりましたが、児童たちは応援や競技において日頃の練習成果を存分に発揮し、大活躍しました。ご家族のみなさんも親子競技に参加され、楽しい時間を過ごされました。今回の特集では、運動会でもみなさまの素晴らし活躍を、たくさんの写真とともにご紹介します。







あわくら会館

あつまる、つながる、やってみる、



▲8/24『太陽光パネルを使ったコースター作り体験』の様子(村民講師行事)



太陽光パネルが生まれ変わる！
楽しく学ぶコースター作りを体験

8月24日(日)、「太陽光パネルを使ったコースター作り体験」を開催しました。講師の山崎誠人さん(むらまる研)指導のもと、使えなくなったパネルを再利用してオリジナルのコースターを制作。参加者は資源循環についても学びながら、楽しく色とりどりの作品を完成させました。廃材となった太陽光パネルの新たな活用方法を知ること、持続可能な暮らしを考えるきっかけとなりました。

村民講師行事



子どもたちが熱戦！
わくわくポケカ大会！

8月26日(火)、あわくら会館・西のわで「ポケカ大会」を開催しました。参加者は子どもたちで、初心者も経験者も一緒になって楽しく対戦しました。初心者の子は会館にあるカードを使って楽しみ、経験者の子は自分のカードで勝負しながら、初心者に優しく教える姿も見られました。ポケモンカードを通じて交流が深まり、笑顔あふれるひとときとなりました。

主催行事

あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



▲ note



▲ Instagram
イベント情報



▲ Facebook



読書週間のお知らせ

秋の読書週間があります！

10月27(月)～11月9日(日)は読書週間です。

今年の読書週間では、みなさんにたくさん本を読む機会をつくっていただけるように、楽しい企画をご準備しています！

詳細につきましては、イベントチラシやInstagramで随時お知らせします。お楽しみに♪



督促状送付について

10月中旬頃から、本を借りてから半年以上経過している方への督促状を郵送します。お手元にある本をご確認のうえ、早期返却のご協力をよろしくお願いします。

文化祭時の開館のお知らせ

今年の文化祭は、11月1日(土)～11月2日(日)で開催いたします。文化祭当日も図書館のご利用(貸出と返却)は出来ます。ご来館お待ちしております。

ご利用案内

図書館のおやすみ 10月

13日(月・スポーツの日)

27日(月・図書館整理日)

図書館の休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始

あわくら会館 開館時間 8:30～22:00

あわくら図書館 開館時間 10:00～18:00

あわくら会館のイベントの詳細は別紙チラシをご覧ください。

図書館の新刊案内

『君たちはなぜ、そんなことしてるのか?』

松原 始／著 山と溪谷社



動物たちの不思議な行動を通じて、人間の行動学も学べます。人間を蜂の巣へ導く鳥やキリンが首をぶつけ合う行動の理由などをユーモアたっぷりに紹介。

一般書

『手作りサウナ大全』

キャンプワン・パブリッシング



自作サウナの理論から実践までを詳しく解説する一冊です。12の事例や製作ノウハウに加え、2×4工法によるサウナ小屋の建て方も紹介しています。

一般書

『マザーアウトロウ』

金原 ひとみ／著 U-NEXT



40歳の女性と、派手で自由な義母が織りなす物語です。嫁姑を超えた関わりの中で、人生の選択や生き方を語り合います。

一般書

『おたすけこびととやんちゃなこいぬ』

なががわ ちひろ／文 コヨセ ジュンジ／絵 徳間書店



泣いている男の子のために、こびとたちがこいぬ探しに出発します。クレーン車やヘリコプターを操り、大冒険する楽しいシリーズ第8弾です。

児童書

※書誌画像出典：TooLi (TRC 図書館流通センター)

お問い合わせ先 あわくら会館・図書館 TEL 0868-79-2116 教育委員会事務局 TEL 0868-79-2216



保育園

『たくさん感じて考えて』

「これ、なんだろう」と触ってみたり、「どうやったらできるかなあ」と工夫したり。子どもたちの目は真剣そのもので、全身を使っているようなことを感じている様子が見て取れます。積み木の置き方を加減して上手に積み重ねられたときのうれしそうな顔や、お友達と一緒に「できた!」と喜ぶ様子はなんともいいものです。





あまさかししょうぼうしょ いちにちにゅうしょ
美作市消防署1日入署
 令和7年8月29日 西栗倉幼稚園

幼稚園

「消防署に1日入署したよ!」

美作市の消防本部で一日入署を行い、消防士さんと同じようにヘルメットを被り、防火服を着せてもらいました。また、煙体験では、手で口を押さえ、姿勢を低くして出口をめざしました。消防車にも乗せてもらい、「高い。」「後ろにはガスマスクがある。」「煙を匂わんようにするためだ。」「マインクラフトにもあった気がする。」などと年長児はこれまでの経験を基に車内にあるものについて会話を楽しんでいます。最後には「お・は・し・も」の約束も確認できました。

お..おさない は..走らない
 し..しずかに も..もどらない



小学校

みんなで話し合い、みんなでつくる

西栗倉小学校では、本年度より全校で「ホームタイム」の取り組みを始めました。これは、そうじや遊びなど、縦割り班活動を通して、違いを受け入れ、一人一人にとって豊かな時間となるために、課題を見つたり、解決方法を考えたりする場です。

2学期は、運動会などの行事を通して、子どもたちがさらに、成長していく姿を楽しみにしています。





中学校

気持ちのいい環境づくりに感謝

夏休み期間に校内のさまざまな箇所を修繕、工事、整備をしていただきました。階段の壁や天井の補修と塗り直し、教室や廊下の清掃とワックスかけ、校舎前の植え込みの剪定、特別教室のカーテンとカーテンレールなど。暑い中作業をしてくださった各事業所みなさんのおかげで、すべて2学期に間に合いました。感謝しながら気持ちよく2学期の学校生活を送ります。



岡田 禔

僕はこの研修を通してたくさんの思い出ができました。みんなとトランポリンに行ったり、授業を受けたり、ボーリングに行ったり、レストランで食事をしたりとたくさんの体験をさせていただきました。そして僕達が聞き取りやすいように、少しゆっくり話しかけて気遣ってくれている優しさが伝わりとても嬉しかったです。おかげで少しずつわかり始め、たくさんの会話をすることができるようになりました。約10日間とても楽しかったです。



安妻 姫菜

私はこの研修でたくさんの事を学びました。オーストラリアと日本とのさまざまな違いに気がつきました。食の文化や学校の様子など、毎日たくさんの違いを知ることができ、充実した日々を送ることができました。ホストファミリーも優しく、最初は上手くいかなくても不安でしたが、最後には、ずっとオーストラリアに居たい!と思うようになりました。研修に行けて本当に良かったと思います。将来、海外旅行をたくさんして思い出を作っていきたいです。



木村 太一

僕は、研修を通して様々なことを経験することができました。オーストラリアの文化に触れ、オーストラリアでしかできないことを経験することができました。最初は不安で怖かったけど、ホストファミリーがとてもフレンドリーで話やすく、すぐに仲良くなることができました。学校でも、ラグビーの話題で盛り上がる事ができてたくさんの友達ができました。この研修での経験が一生忘れられない僕の宝物になりました。



嘉味田 仁

僕は今回の研修で様々な体験と経験をする事ができました。日本とは習慣もスケジュールも違う学校に通い、地形や建物の形も違う街中をバスで登校するのはとても新鮮な感覚でした。また、オーストラリアの方々は、僕たちに対してとてもフレンドリーで、スーパーの店員の人も世間話をするような場面もありました。ホストファミリーとは夕飯を食べ映画鑑賞やTVゲームをしたり、外食や遊びに行ったりとオーストラリアの家族の日常と一緒に過ごさせてもらいとても楽しかったです。日本でも様々な人々と話して新しい出会いを作っていきたいです。



野田 侑

私はこの研修でオーストラリアに行き様々な経験ができました。初めての海外で戸惑うこともありましたがなんとかやり抜く事ができました。西粟倉だからできるすごい体験なので悔いの残らないよう頑張った結果、充実した10日間を過ごすことができました。学校ではいろんな人が話しかけてくれ楽しい体験ばかりでもう半年は居たいと思いました。日本の校則を変えたいと思うような楽しい学校でした。



宮本 真緒

この研修には、たくさんの経験と学びがありました。日本とは違った環境が常に周りにあり、不安でいっぱいでした。しかし、ホストファミリーを始め生徒たちがたくさん話しかけてくれたり、優しく気遣ってくれたりしてだんだんと不安もとけ、あっという間に時間が過ぎていきました。そして、自分からも英語で質問したりコミュニケーションをとったりすることができ、自信ができました。これからも色々な人達との交流を通してたくさん挑戦し新しい自分になれたらなと思っています。



草刈 龍了

僕はこの研修でいろいろなことを知り、いろいろなことを学びました。最初は外国がちよっと怖くて不安でした。でもホストファミリーとあってみると優しい人ばかりで安心しました。ホストのジランとは特に同じ趣味のゲームの話で盛り上がって楽しく過ごしました。ホストのお母さんが上手に日本語を話せたこともあります。一生懸命に相手の言葉を聞いてしゃべってみることで相手に伝わり、楽しく会話できることを学びました。

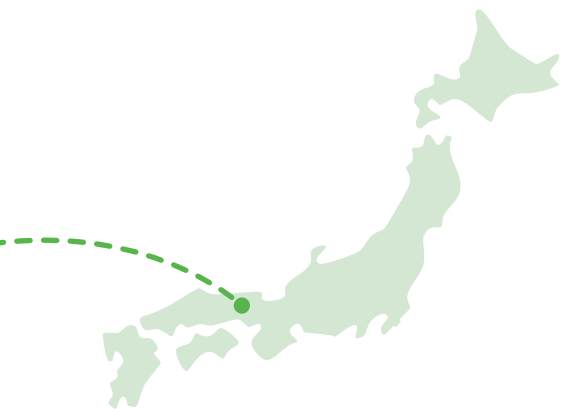
一生の思い出になりました。



角田 春陽

私はこの研修でたくさんのことを学びました。最初、初めての海外でのホームステイでうまく会話をする自信もなくとても不安だったけど、ホストファミリーがとても優しく迎えてくれ、学校では、ホストのアニーの支えもあり、心強かったです。とても優しく話しかけてくれる人ばかりで、楽しく話すことができ、たくさんの友達を作ることができました。日本との共通の話題もあって、とても面白かったです。

また、オーストラリアへ行きたいと思うようになりました。とても充実した日々を過ごしました。



オーストラリア研修

8月9日(土)～
8月18日(月)

8月9日から8月19日にかけて、西粟倉中学校の2年生8名がオーストラリアニューサウスウェールズ州ワガワガ市へ行き、ホームステイをしながらマーター・デイ・カトリック・カレッジで研修を行いました。生徒が感じ取ったことについてうかがいました。

10月25日(土)の中学校の学習発表会ではこの研修で得られたことを生徒たちが発表します。是非ご覧ください。



西粟倉村は「脱炭素先行地域」です

「全国より20年早く、2030年度ゼロを目指します」

日本は2050年までにCO₂排出ゼロにする「カーボンニュートラル」を目指しています。この大きなゴールに向けて、まずは2030年度までに電力によるCO₂排出をゼロにするモデル地域として国が指定するのが「脱炭素先行地域」です。西粟倉村はその1つに選ばれており、国の支援を受けながら先頭に立ち、取り組みを進めています。

西粟倉村ではまずは公共施設や観光施設、木材加工施設や村営住宅などで、CO₂排出実質ゼロを目指し、森とエネルギーを活かした暮らしづくりに挑戦しています。

これまでの歩み
百年の森林構想（2008年）
健全な森を未来に残すため、

計画的な手入れを行っています。

森の整備は、二酸化炭素を吸収し、環境を維持し、土砂災害のリスクを減らすことで、皆さんの安心な暮らしにつながります。

小水力発電所運転開始（2014年）

村内の川で年間約340万kWh発電。村の家庭電力消費の約95%を賄える量の電気を生み出しています。

木質バイオマス熱供給（2015年）

これまで森に放置されていた林地残材を年間約3,000m³活用。役場・学校・温泉施設などの暖房や給湯に利用しています。温泉施設では、灯油ドラム缶約1,000本分を削減できました。

現在の西粟倉村は？

家庭や事業所で使う電気は村全体で年間約730万kWh。これに対し、村内でつくる再生エネ電気は年間約350万kWh以上です。すでに全体の半分近い量の再生エネ電気を作りだしています。現在も更なる再生エネの拡大と安定供給、そして非常時対応のため、取組を進めています。

令和7年度の主な事業

1 電気をつくってためる

太陽光発電・蓄電池設置予定
設置場所：あわくら会館、西粟倉保育園・幼稚園、ゆうゆうハウス、あわくらんど、旬の里、中土居住宅

2 使う電気を減らす

LED照明化（ゆうゆうハウス）
消費電力約40%削減
窓ガラス断熱改修（村営住宅）
で冷暖房効率向上

再生エネ設備を監視する『エネルギーマネジメントシステム』の開発

村民のみなさんにもできること

村の脱炭素は、役場だけでは達成できません。みなさんのちよつとした工夫が脱炭素を進める大きな力になります。

電気の使い方、特に待機電力を見直してみる

地産地消や環境に配慮した製品を選ぶ

マイバッグ・マイボトルを使い、使い捨てを減らす

LED照明や省エネ家電に替えて、電気代やCO₂を削減

こうした小さな工夫が村全体の脱炭素につながります。みんなで協力して西粟倉村の未来を作っていきましょう。

祝百歳おめでとうございます!!

影石の萩原藤枝さんが、8月に100歳のお誕生日を迎えられました。誕生日に合わせて、現在過ごされている佐用町の祐あいホーム上月の施設職員さんやご家族など大勢の方々に囲まれながら、お祝いをしました。

萩原さんは、お孫さんやひ孫さんから抱えきれない程のプレゼントをもらい、とても嬉しそうな笑顔を見せられていました。みなさんからの祝福を受け、とてもお幸せそうでした。

これからも健康に気をつけて、お元気にお過ごしください。



【保健福祉課】

10月は里親月間です

「里親」とは、さまざまな事情により家族と一緒に生活することができない子どもを家庭に迎えて育ててくださる方のことです。

「里親制度」は、温かい愛情と正しい理解を持った家庭環境の下での養育を提供する制度です。また、家庭での生活を通じて、子どもが成長する上で極めて重要な特定の大人との愛着関係の中で養育を行うことにより、子どもの健全な育成を図る有意義な制度です。

温かい家庭の味を知らず、里親さんとの暮らしを心待ちにしている子どもがいます。子どもが好きな方、子育てが一段落ついた方、子育て経験を生かしたい方など、里親制度に興味をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】

〒708-0004

岡山県津山市北288-1

岡山県津山児童相談所

子ども支援課

TEL

0868-235131

FAX

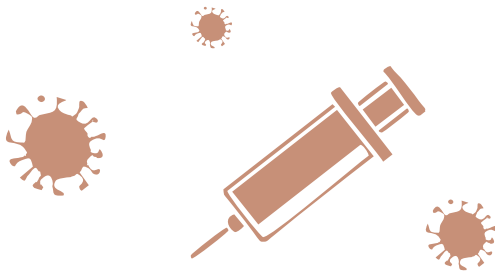
0868-235132



【保健福祉課】

0歳から15歳までの方のインフルエンザ予防接種について（おしらせ）

10月1日（水）からインフルエンザワクチンの予防接種が始まります。接種後2週間から約5ヶ月間、免疫効果がありますので、インフルエンザが流行する前に、早めに予防接種を受けておきましょう。



【接種期間】

令和7年10月1日（水）～
令和8年3月31日（火）

【接種場所】

① 西粟倉村診療所

（※予約が必要です。午後の時間帯にお電話ください）

TEL79・2220

② ①以外の医療機関

（※予約が必要です）

【持参物】

マイナ保険証、資格者証など
年齢が確認できるもの

（助成券が送付されている方は
必ず一緒にお持ちください）

【料金】

下記のとおり

（世帯に応じて、助成の有無や
助成額が異なります）

年齢別 / 接種回数	0歳から12歳 / 2回接種		13歳から15歳 / 1回接種	
西粟倉村診療所で接種される場合	生活保護・ 非課税世帯の方	課税世帯の方	生活保護・ 非課税世帯の方	課税世帯の方
【自己負担額】	0円	1,500円 (1回あたり)	0円	1,500円
西粟倉村診療所以外で接種される場合	医療機関により異なる			
【助成額】	0～12歳 全額助成	0～12歳 1,500円	13～15歳 全額助成	13～15歳 1,500円

※助成対象の方で、西粟倉村診療所以外の医療機関で接種された場合は、領収書・接種証明書・受け取り口座の通帳をお持ちのうえ、保健福祉課までお越しください。

1回目の接種の際、12歳で2回目の接種時に13歳になっていた場合でも、12歳と考えて2回目の接種を行っても問題ありません。

経鼻生インフルエンザワクチン（鼻腔内に噴霧するワクチン）をご希望の方は、医療機関へご確認ください。（助成回数は1回です。）

65歳以上の方の「インフルエンザ」と「新型コロナウイルス」の予防接種が始まります。

インフルエンザワクチン、新型コロナウイルスワクチンともに、発病後の重症化を予防する効果が確認されています。

【接種期間】

令和7年10月1日(水)～
令和8年3月31日(火)

【接種場所】

① 西栗倉村診療所(※予約が必要です。午後の時間帯にお電話ください)0868-79-2220
② ①以外の県内医療機関(※予約が必要です)

③ 県外の医療機関

※佐用中央病院・佐用共立病院・

織田医院・智頭病院・岡本医院

以外の病院で接種を希望の方は、接種の2週間前までに保健福祉課へご連絡ください。

【持参物】

マイナ保険証又は資格者証など

年齢が確認できるもの(助成券がある方は必ず医療機関にお持ちください。)

【料金】

インフルエンザ

自己負担額 1,700円

※生活保護・非課税世帯の方には、無料で接種ができる助成券を郵送しますので、ご利用下さい。

新型コロナウイルス

自己負担額 2,000円

※生活保護世帯の方には、無料で接種ができる助成券を郵送しますので、ご利用下さい。

【対象者】

65歳以上、60～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器の機能障害、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する方。

ご不明点などございましたら、お気軽に下記までお問合せください。

【保健福祉課】

かかりつけ医普及啓発講座開催のお知らせ

ヘルスボランティア委員会では、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、かかりつけ医を持つことをお勧めしています。

また自分の健康は自分で気を付けることも大切です。「体を動かす楽しさを知る」と題して運動実践指導者の講師をお迎えして楽しく筋力アップの体操や認知症予防の脳トレを教えていただきます。昨年の開催も大変好評で「楽しかった。」という声をたくさんいただきました。いつまでも元気で過ごすため、みなさんで楽しく体を動かしましょう！

たくさんの方の参加お待ちしております。

【日時】

10月21日(火)
13時30分～15時30分
(受付13時15分～)

【場所】

あわくら会館 百森ひろば

【講師】

運動実践指導者
千田節子先生

【持ち物】

室内運動靴
お茶など水分補給の飲み物

※椅子に座り柔らかなポールを使って体操します。運動のできる服装でお越しください。

【保健福祉課】

モルック無料体験会開催のお知らせ

モルックとは、フィンランド発祥のアウトドアスポーツです。木製の棒（モルック）を投げて数字が書かれた木のピン（スキットル）を倒し、先に50点ちょうごを目指すゲームです。

おひとりから参加可能です。お電話または窓口までお申し込みください。
みなさまのご参加をお待ちしております。

【日程】	令和7年10月18日（土） 13時30分から15時
【場所】	百森ひろば
【対象年齢】	6歳〜
【体験費用】	無料
【参加特典】	あわポ100P
【主催】	西粟倉村 スポーツ推進委員会

【教育委員会】

第4回村民グラウンドゴルフ大会

8月23日（土）に第4回村民グラウンドゴルフ大会が開催されました。

例年、天岡グラウンドゴルフ場で開催されておりましたが、より村民のみなさんが参加しやすいようにと今年は会場を村民グラウンドに移し、初の開催となりました。

当日は35名の方が参加され、天気にも恵まれ、和気あいあいと気持ちよくプレーすることが

結果	
優勝	高木清伴さん
準優勝	政久利江さん
3位	豊福秀樹さん
4位	建元泰博さん
5位	豊福基世さん

できました。ホールインワンを果敢に狙う姿が印象的でした。

大会終了後は、「負傷者や体調不良者が出ることなく終えられてよかった。次の大会で会いましょう。」と声を掛け合っていました。

入賞したみなさんおめでとうございます！



【教育委員会】

おしえて年金

国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象です！

国民年金保険料は、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除されますが、控除の対象となるのは、令和6年中（令和7年1月1日から令和7年12月31日）に納められた保険料の全額（過去の年度分の含む）です。

社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告の際に、保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要となります。

**発送時期
対象者**

① 令和7年10月下旬から11月上旬にかけて順次発送
令和7年1月1日から令和7年9月30日までの間に納付された方

② 令和8年2月上旬

令和7年10月1日から令和7年12月31日までの間に納付された方（①の対象者は除く。）

このため、日本年金機構から次のスケジュールで「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が対象者宛に発送されますので、お手元に届きましたら、大事に保管し、年末調整や確定申告の際に使用してください。

なお、ご家族（配偶者やお子様等）の国民年金保険料を支払っている場合についても控除が受けられます。

★詳しくは、津山年金事務所（電話0868-31-2360）までお問い合わせください。

年末調整について

会社などにお勤めの方で年末調整を行う方は、「本来受けられるはずの控除が受けられない」などが起こります。次の点に注意しましょう。各種控除に必要な申告書は下記のとおりです。

【扶養親族の確認】

年末までに扶養親族の人数が変わる場合は、提出済の「給与所得者の扶養控除等申告書」を訂正してください。

【再就職をした人は、前職の源泉徴収票を現在の勤務先】

今年、会社を退職して別の会社に再就職した人は、その勤務先で年末調整を行います。退職した会社から源泉徴収票を取り寄せ、提出してください。

【受けられる控除→申告書】

扶養控除、障害者控除、寡婦控除、ひとり親控除、勤労学生控除
→ 給与所得者の扶養控除等（異動）申告書

配偶者控除、配偶者特別控除
→ 給与所得者の配偶者控除等申告書

特定親族特別控除
→ 給与所得者の特定親族控除申告書

所得金額調整控除
→ 所得金額調整控除申告書

（特定増改築等）住宅借入金等特別控除
→ 給与所得者の（特定増改築等）住宅借入金特別控除申告書

あわくら大学8月講座

ボードゲームと昔あそび

8月講座は、放課後児童クラブ「げんきっこ」の児童とボードゲームと昔遊びをお互いに教え合いながら交流しました。

ボードゲームは戦略やコミュニケーションを楽しみ、異世代で一緒に遊ぶことができます。

児童たちはあわくら会館にある約90種類あるボードゲームの中から数種類を選び練習をし、当日のルール説明役をしました。

大学生はコマ回しや面子などを

実演し、児童たちに技を伝授していました。

さらに、持って来たおはじきやお手玉を寄贈いただき、夏休みの児童たちの遊びが広がりました。

異世代で交流しながら、遊びを教え合う姿が家庭やあわくら会館など村中に広がっていくようにしていきます。



あわくら会館・図書館 副館長白岩将伍

特色ある教育通信

世界につながる西栗倉の魅力を中国5県大学生が紹介！

国際協力機構（JICA）中国支部が主催するフィールドワークの学びの一環で村に滞在した4人の大学生による授業を小・中学校で行いました。

小学校は『「お金を稼ぐ」と「好きなことをする」のバランス』がテーマ。どちらに重きを置くか対話をしました。

『お金じゃ夢に届かない』『お金がないと好きなこともできない』とたくさんの意見が出ました。中学校は「インフラの整備や福祉を土台に豊かな生活が実現できる」を実感するワーク。世界に

比べたら日本は非常に恵まれています。要素をふせんで並べながら西栗倉においては教育・福祉はこの10年間で大きく変わってきていることも確認しました。村を学んだ大学生の視点をとおして、小学生は『「好きなこと」と「お金を稼ぐこと」のバランスを上手にとっている』『生きるを楽しむ』『中学生は「いろいろな困りごと」を0→1の力で解決し続けている』ということが、世界に誇れる西栗倉村の「魅力」であると体感することができました。



教育コーディネーター 福岡 要

脱炭素先行地域 にしあわくら Vol.4

水力発電について

西栗倉村では、水力発電による再生可能エネルギーの導入が着実に進められています。村内には1966年から稼働している発電所を含めて3カ所の小水力発電所が整備され、老朽化に伴う改修も実施されました。これらは公共施設への電力供給に貢献し、脱炭素先行地域としての基盤を支えています。さらに、百森でんきが主体となって49kW規模の新設発電所の整備も計画されており、今後は水力の安定性と長寿命を

生かした地域主導の電力供給体制の確立が期待されています。地域のエネルギー政策の中核として重要な役割を担い、持続可能な未来を支える力となっています。こうした取り組みは地域の自立的エネルギー戦略において不可欠な要素となります。



むらまるごと通信 vol.47

使用済み太陽光パネルを きらめくコースターに再生

西栗倉むらまるごと研究所は、Reelee株式会社と協力し、使用済み太陽光パネルを活用した「コースター作りワークショップ」の企画からパーツの加工、実施までを伴走し、百森まつりやあわくら会館のイベントとして開催しました。参加者はUVプリンターで着色したパネルのガラス片を木製の土台に自由に並べ、仕上げて目地材を流し込んで、オリジナルのコースターを完成させました。

本ワークショップを通じて、設置後20〜30年で寿命を迎え、初期に設置された太陽光パネルの廃棄が課題として取り上げられている中、その問題に取り組む村内企業の存在を、楽しく体験しながら知っていただく機会となりました。

さらに、キット化・販売され、自宅でも楽しめるようになりました。



連絡先 090-4109-6500

社協だより

赤い羽根共同募金のお願い

ひとりひとりのやさしさがあなたの住む村をもっとやさしくしてくれます

赤い羽根の共同募金運動は、皆さんのやさしい気持ちを集める「国民たすけあい運動」として開始された活動です。地域で寄せられた募金は、地域で行われる多様なボランティア活動や福祉活動に役立てられます。

また、地震や台風、豪雨などの大規模な災害が発生した際には、募金の一部が被災地へと送られ、被災された方々を支えるボランティア活動の支援にも活用されます。

あなたのやさしさ・声掛け・行動が村を変えていくはじめの一歩となります。

今年も、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



募金期間 10月1日(水)～12月31日(水)

令和7年度村老連杯ゲートボール大会

9月2日(火)、村老連杯ゲートボール大会が開催されました。

暑い中での大会でしたが、どのチームも白熱した試合を繰り広げていました。

／ 成績 ／

優 勝	筏 津	チー ム
準優勝	大 茅	チー ム
第三位	長 尾	チー ム



ミニシルバー人材センターに おまかせください！

暮らしの中でお手伝いが欲しい時にお電話ください。
「草刈り」「庭木の剪定」「除草作業」など

まずは、お電話を！

シルバー会員

随時募集中

概ね60歳以上の方ならどなたでも加入
できます。一緒に活動してみませんか？

お問合せ社会福祉協議会まで
TEL 79-2561

仕事の依頼方法は・・・

1 電話で仕事の依頼をする



2 現場確認



※作業の内容によって金額が違う



3 作業開始



4 作業完了(月末締め 翌月支払い)

川

穏やかな川も牙むく恐怖来る

熊見まちこ

祖母とならび大の字川でぐつすりと

建元 照子

若杉のせせらぎ瀬戸へ旅をする

井上 吉男

家族

重い荷も家族の力で軽く成り

新海 孝代

温かい家庭で育つ優しい子

井上 吉男

赤トンボ

赤トンボ網と虫籠幼き日

春名佳世子

スイスイと夕陽に映える赤トンボ

新海 孝代

自由吟

せつかくの化粧台無し野良の汗

春名佳世子

秋近し吹く風肌に優しいね

建元 照子

しなやかなナースの指が脈を測る

清水 早苗

大安日箱入り娘嫁ぎます

熊見まちこ

花も木も枯れてしまったこの暑さ

清水 早苗

人の動き

■令和7年9月1日現在の動き

人口	1,299人(-1)
男	616人(0)
女	683人(-1)
世帯数	597人(1)

8月中の移動

出生	1人
死亡	2人
転入	1人
転出	1人

善意の窓

令和7.8.8～令和8.9.22

【香典返し】

中土居 宮脇 雅子 様 父 昭 様 香典返し

寄せられたご寄付は、ボランティア活動などの地域福祉の推進に役立っています。

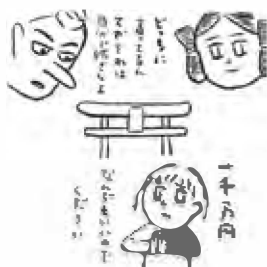
【その他】

みまさか商工会西栗倉支部(女性部) 雑巾



広報についてのご意見・感想は掲示板、総務企画課までお問い合わせください。

◀ 村民掲示板ページQRコード

あわくら百景
アワクラヒャクセイ

【栗倉神社の天狗】

昔、栗倉神社の前を通りがかった商人が、境内の方に後光のさす天狗を見たらしい。それからというもの、その商人の家は繁盛したという話がある。天狗とは元来、隕石や流星をさすものであった。後光がさしているということは、商人が見たのは流れ星か。いや、あれだけ鬱蒼とした杉林には、山伏の恰好に赤ら顔、高鼻に鴉の羽を生やしたいわゆる天狗がいてもおかしくはない。てか、いてほしい。私も繁盛したい。「いや、俺に頼めよ」とか栗倉神社の御祭神に思われてそうである。

村民紹介レター

「生きるを楽しむ」
西栗倉村の人々を
友達紹介レターで
インタビュ―！



Plot 091

角田 流唯 さん

Kadota Rui

年齢..15

所属..中学3年生

今月のテーマ

「みんなで思いきり体を動かせる場が欲しい」

角田さんは村で育った中学生です。1歳のときに家族とともに移り住み、現在は美作市の硬式野球チーム「美作ボーイズ」で汗を流しています。野球を始めたきっかけは小学校時代のソフトボールです。上手くなるほど自分の成長が実感できてかっこいい、それが野球を好きな理由です。将来は「まともな大人」になりたいと考えており、大人になってもずっと野球を続けたいと話します。

体を動かすこと全般が好きで、放課後は体育館のバレーボールサークルやバスケットボールにも参加しています。村の良さは、事故や事件が少なく治安がよいところ、そして顔と名前がわかる距離感の近さだと感じています。

好きな場所は「あわくら会館」です。学校帰りに同級生と集まって世間話をするのが何よりの楽しみです、友だちの間では「どすこい」という指スマのようなゲームが流行しています。

村にはみんなで思いきり体を動かせる広い公園ができたらしいと語っていました。



西栗倉村役場
電話番号

総務企画課 0868-79-2111
出納室 0868-79-2113
保健福祉課 0868-79-2233
産業観光課 0868-79-2230

建設課 0868-79-2231
教育委員会 0868-79-2216
診療所 0868-79-2220
FAX 0868-79-2125

各記事の内容についてのご意見・ご質問は、各課までお問合せください。

広報
令和7年10月号
No. 749

発行 〒707-0503 岡山県英田郡西栗倉村影石33-1
西栗倉村役場 総務企画課
TEL 0868-79-2111 FAX 0868-79-2125
印刷(資)谷本弘輝堂



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と森林の再生に取り組む岡山県西栗倉村との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与する紙一」を使用しています